

## 令和3年度 神奈川県立深沢高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	日常行動における職員個々の意識を高め、公務外非行の発生を未然に防止する。	4月に行政文書事務について、9月に服務規程について不祥事防止研修を行った。チェックシートによる自己診断の実施をした後、担当職員による注意喚起を行った。チェックシートを回収し、職員の意識の再確認を促した。 しかし、週休日において職員の不適切行為が発生した。それを機会にさらに丁寧な研修を行い、日常行動における職員個々の意識を高めることに努め、組織全体で法令遵守を徹底した。【目標は達成まで至らなかった】
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	人権に配慮した適切な研修会等を開催して、職員個々のハラスメントに対する理解及び認識を深め、ハラスメント行為を未然に防止する。	5月にセクハラについて、7月にパワハラについて月齢の不祥事防止研修で「事故防止メッセージリレー」を発表し、全職員一人ひとりの行動の自覚を促した。 また1月にアンケート調査を行い、職場全体の認識を鈍らせないようにした。年間をとおして、互いに心を通い合わせる職場環境の保持に努めることができた。 【目標は達成できた】
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員個々のわいせつ・セクハラ行為に対する理解及び認識を深めるため、適切な研修会等を開催して人権に配慮した意識を高める。	頭では分かっていると思っていることでも、研修をとおして人権意識について再認識した。7月と1月に生徒へのアンケート調査等を行い、無自覚の誤った行動がないように確認できた。 【目標は達成できた】
体罰、暴言等の不適切指導の未然防止	生徒の人権に配慮した適切な生徒指導を行い、体罰や不適切指導を未然に防止する。	4月に人権について、8月に体罰について全職員対象に研修を行った。特に教職経験の少ない教職員への体罰禁止の注意喚起に意を払い、同時に全職員の意識向上を図ることができた。 日常的な会話も穏やかであるよう、良い学校の雰囲気組織で継続できた。 【目標は達成できた】
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類等の取扱いに係る事故未然防止	正確で公正な選抜業務遂行や成績処理を行う。また、関係書類の発行に係る適正な事務処理を徹底する。	年度当初から3学年及びキャリアグループ、学習支援グループが調査書作成・発行に係る組織的な業務態勢をつくり、慎重に業務を遂行できた。 2月の研修では入学者選抜に係る事故防止について取り上げ、事故の皆無をめざした。特に、選抜システムの改革による業務内容の変更点を確認し合うなどして、無事故で業務を終えることができた。 【目標は達成できた】

個人情報管理・情報セキュリティ対策	朝の打合せや職員会議等を活用した管理職による個人情報管理に関する意識啓発を行い、職員の個人情報管理の意識を向上させて、紛失・漏洩等の未然防止を図る。さらに、情報セキュリティ対策を講じて、情報を漏洩防止の対策を徹底させる。	4月に文書の取扱いについて、9月に個人情報について研修し、職員の意識啓発を行うと共に、個人情報管理等の意識を向上させ、紛失・漏洩等の未然防止を図ることができた。 定期試験や成績処理の期間は、校内のシュレッダーの使用を停止することで、個人情報の滅失防止に取り組んだ。 メッセージリレーの実践等、繰り返しセキュリティ対策について伝える工夫をした。 【目標は達成できた】
財務事務等の適正執行	県費、私費で公正な予算編成と適正な執行を行い、事故を未然に防止する。	4月に行政事務について、12月に物品の適切な管理について、1月に旅費の取扱いについて研修を行った。複数で伝票や備品の管理確認を行う重要性を再確認するなど、不正のない適正な執行を見届け、事故ゼロを達成した。 【目標は達成できた】

○ 令和3年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和4年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

本校では、これまでコンプライアンス委員会が積極的に活動し、月ごとのテーマによる事故・不祥事防止メッセージを作成して解説するなど、不祥事防止研修の場での全職員による啓発活動を行ってきた。これにより、全職員が不祥事を自分ごととして捉え、不祥事の防止に心掛けることができた。

年度途中の2月からはコンプライアンス委員会を廃止し、不祥事防止会議を立ち上げて週1回の会議を行っている。不祥事防止会議では、校内における懸念要素を洗い出して解決策を講じるとともに、不祥事防止に向けた方針の策定等も行っている。

また、管理職や総括教諭による時宜を得た研修や注意喚起により、成績処理、進路業務、入学者選抜業務においては、事故を発生させることなく今年度の業務を終了できた。

ただし、週休日の私的な場における不適切行為が発生したため、改めて研修を行い、職員一人ひとりに対して、公務外においても高い規範意識に基づいて行動することを強く求めた。

令和4年度は、無意識のうちに不適切な行動をとってしまうことがないように、ハラスメント全般を重点課題として不祥事防止に取り組んでいきたい。